

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	沖縄キリスト教学院大学
設置者名	学校法人沖縄キリスト教学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門科目	合計		
人文学部	英語コミュニケーション学科	夜・通信	4		12	16	13	
	観光文化学科	夜・通信			10	14	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.ocjc.ac.jp/ocu/ocu_syllabus/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	沖縄キリスト教学院大学
設置者名	学校法人沖縄キリスト教学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.ocjc.ac.jp/gakuin/gaiyou/roll_yakuin/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(現職) 日本基督教団沖縄教区 総会議長	2023. 10. 21 ～ 2026. 10. 20	建学の精神
非常勤	(現職) 沖縄銀行常務取締役	2023. 10. 15 ～ 2026. 10. 20	財務担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	沖縄キリスト教学院大学
設置者名	学校法人沖縄キリスト教学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 本学では「シラバス作成ガイドライン」に則り科目担当教員がシラバスを作成する。シラバスにおいては、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・マップ、また作成ガイドラインに基づき、各項目（授業形態、到達目標、授業の概要、各回の授業計画及び事前学習・事後学習、評価方法・評価基準、DPとの関連性等）について明記している。その際、第三者（学部長、学科長、教学支援部長、学科教員間、等）による点検作業を実施し、適正性に欠けるシラバスについては、担当教員へ修正を指示し、適正な内容へと改善を行っている。 シラバスは3月中旬に完成し、ホームページ上で公表している。シラバス活用については、履修登録ガイドと併せてWebシラバスの利用手順を履修登録前の3月下旬にホームページ上に掲載し学生向けに周知している。	
授業計画書の公表方法	https://www.ocjc.ac.jp/ocu/ocu_syllabus/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各授業科目の「評価方法」として、到達目標に対する学修成果の到達度を適切に評価できる方法及び割合を、シラバスにあらかじめ明示している。 (例：定期試験〇%、課題・授業外レポート〇%、小テスト〇% 等) また各授業科目の「評価基準」についても、到達目標で示した学修成果の到達度を評価する際にどこに着目するのか、具体的で客観的な判断基準として「授業別ルーブリック評価」を導入し、評価項目と評価基準について、初回講義時に学生に説明することとしている。 学則及び履修規程に従い成績評価と単位認定を行うが、成績表示、素点評価、評価内容の基準について学生便覧やホームページ上で説明している。 学習意欲の把握については、出欠状況管理システムを導入し、出欠情報を一元管理している。また、出欠調査結果を基に、アドバイザーによる学生指導を実施している。 (参考 ルーブリック利用ガイド： https://www.ocjc.ac.jp/wp-content/uploads/2024/03/touroku_8_rubric.pdf) (参考 成績評価について： https://www.ocjc.ac.jp/ocu/ocu_requirements/#seiseki)	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

1. 成績評価と単位認定

成績評価は100点満点で行い、下記の基準により評定する。

判定	成績表示	素点評価	GP	評価内容
合格	秀 A	90点以上	4	到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている
	優 B	80点～90点未満	3	到達目標を十分に達成している
	良 C	70点～80点未満	2	到達目標をある程度達成している
	可 D	60点～70点未満	1	到達目標を最低限達成している
不合格	不可 F	60点未満	0	到達目標を達成していない
	欠 K	—	0	出席不足
合格	認 P	—	—	留学における単位認定の評価 ※GPA対象外とする

2. GPA 制度

学期毎に、全履修科目の単位当たりの成績の平均値（GPA: Grade Point Average）を表示し、以下の計算式によって算出する。

履修科目の換算点の総和／履修科目の単位数の合計

ただし、換算点は〔(科目の単位数) × (その科目で得たグレードポイント)] とする。
小数点第2位まで表記し、第3位を四捨五入する。

〈GPAの対象外科目〉

以下の科目についてはGPA評価の対象としない。

- (1) 教職関連科目で、卒業要件に算入しない科目
- (2) 協議に基づく他の大学又は短期大学で修得した単位を認定した科目。
ただし、本学と同一法人の併設短期大学を除く
- (3) 外国の大学又は短期大学への留学により単位を認定した科目
- (4) 大学以外の教育施設等で修得した単位を認定した科目
- (5) 入学前の既修得単位等を認定した科目
- (6) 編入学・転入学時に単位を認定した科目
- (7) 受講免除科目

3. GPA による履修条件

- (1) 累積 GPA が 3.00 以上の場合、当該学期における履修登録の上限を 24 単位とする。
- (2) 累積 GPA が 3.00 未満の場合、当該学期における履修登録の上限を 20 単位とする。
- (3) 履修条件において、所属学科長との面談により承認された場合は、本項 2 号の上限の限りではない。
- (4) 超過単位については、教員免許取得に必要な科目は含まないものとする。

4. GPA による学修指導

- (1) 履修科目の GPA が 1.50 に満たない場合、アドバイザーによる勧告・指導・助言を行う。
- (2) 履修科目の GPA が 1.00 に満たない者には、学部長が退学を勧告することができる。

※1. ～4. 関連規程

沖縄キリスト教学院大学履修規程 (成績評価と単位認定) 第 12 条
(GPA 制度) 第 13 条

5. 客観的な指標に基づく成績の分布状況の把握については、「成績分布状況表」(※添付資料)を作成する。

※添付資料

人文学部 (英語コミュニケーション学科) 「成績分布状況表」

客観的な指標の 算出方法の公表方法	ホームページ https://www.ocjc.ac.jp/ocu/ocu_requirements/#GPA 成績評価と単位認定、及び GPA 制度について定めた「沖縄キリスト教学院大学履修規程」を学生便覧に掲載している (新入生全員に配布)
----------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

沖縄キリスト教学院大学

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

- (1) 「仕えられるためではなく仕えるために」他者と協働し、キリストの精神を礎とした平和な地域社会・国際社会の実現へ貢献することができる（キリスト教・平和・社会貢献）。
- (2) 高い人権意識と語学力を持って他者の考えや思いを理解するとともに主体性を持って自分の考えを表現し、平和的なコミュニケーションを実践することができる（語学力・社会的倫理観・コミュニケーション能力）。
- (3) 他者の文化や社会、歴史や価値観が多様であることを深く理解し、寛容性と責任感のある地球市民として共生を目指し行動できる（多文化共生）。
- (4) 修得した知識・技能を活かして地域社会の課題を発見・解決できる（地域貢献）。

英語コミュニケーション学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること
2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること
3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること
4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること

観光文化学科

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 知識・理解
建学の精神を礎とした平和を創造する力を養い、観光・文化の専門的な知識を身につけ、地域社会・国際社会の発展に貢献することができる。
2. コミュニケーション力
外国語を駆使しながら多様性社会の人々とコミュニケーションを図り、他者と協働するとともに、他者に方向性を示し、リーダーシップを取ることができる。
3. 自己理解力
豊かな人間性をもって自己をコントロールし、主体性を持って自分の考えを表現し、自ら目標を身につけて行動することができる。
4. 課題対応力
グローバル社会で生じる広範な情報リテラシーを身につけ、自ら課題を見出し、論理的思考力で、実践的に解決することができる。

沖縄キリスト教学院大学学則

(卒業・学位)

第 44 条 本学に 4 年以上在学し、英語コミュニケーション学科においては、別表第 1 及び別表第 2、観光文化学科においては、別表第 1 及び別表第 3 に掲げる所定の授業科目数及び単位数を修得した者には、教授会の議を経て学長が卒業を認定する。

2 前項の規定により、卒業の要件として修得すべき所定の単位数のうち、第 31 条の 2 第 2 項に規定する授業の方法で履修し修得した単位は、60 単位を超えない範囲で認定する。

3 学長は、第 1 項の卒業を認定した者に対して、卒業証書・学位記を授与する。

4 卒業の認定及び卒業証書・学位記授与は、3 月及び 9 月に行う。

(学位の授与)

第 45 条 学長は、卒業を認定した者に学士の学位を授与する。

2 学位の授与については、別に定める。

●「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」を踏まえた上で、所定の授業科目数及び単位数を修得した学生に対し、学則第 44 条及び第 45 条に則り、卒業を認定し学位を授与する。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	大学 https://www.ocjc.ac.jp/ocu/policy_ocu/ 英語コミュニケーション学科 https://www.ocjc.ac.jp/ocu/ocupolicy_ecom/ 観光文化学科 https://www.ocjc.ac.jp/ocu/ocu-tourism_culture-policy/
----------------------	--

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	沖縄キリスト教学院大学
設置者名	学校法人沖縄キリスト教学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.ocjc.ac.jp/wp-content/uploads/2024/06/5_taisyakutaisyohyou_2024.pdf
収支計算書又は損益計算書	【資金収支計算書】 https://www.ocjc.ac.jp/wp-content/uploads/2024/06/2_shikinsyushikeisansyo_2024.pdf 【活動区分資金収支計算書】 https://www.ocjc.ac.jp/wp-content/uploads/2024/06/3_kastudokubunshikinsyushikeisansyo_2024.pdf 【事業活動収支計算書】 https://www.ocjc.ac.jp/wp-content/uploads/2024/06/4_jigyokastudousyushikeisansyo_2024.pdf
財産目録	https://www.ocjc.ac.jp/wp-content/uploads/2024/06/6_zaisanmokuroku_2024.pdf
事業報告書	https://www.ocjc.ac.jp/wp-content/uploads/2024/05/2023nenndo_Jigyohouoku.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.ocjc.ac.jp/wp-content/uploads/2024/06/1_kansahoukokusyo_2024.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 2024年度事業計画 対象年度: 2024年度)
公表方法: https://www.ocjc.ac.jp/wp-content/uploads/2024/03/20240308_2024nenndo_Jigyokeikakusyo.pdf
中長期計画(名称: 沖縄キリスト教学院第5次中長期計画 対象年度: 2022年度~2027年度)
公表方法: https://www.ocjc.ac.jp/wp-content/uploads/2022/03/0800_tyutyokikeikaku_2022-2027.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法：<https://www.ocjc.ac.jp/gakuin/johokokai/#0301>

(2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：<https://www.ocjc.ac.jp/gakuin/johokokai/#joho03>

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	人文学部 英語コミュニケーション学科、観光文化学科
教育研究上の目的（公表方法： https://www.ocjc.ac.jp/ocu/mokuteki_ocu/ ）	
（概要） 人文学部 沖縄キリスト教学院大学は、建学の精神、大学の使命・目的、及び基本理念を踏まえ、人文学部の教育目的・理念を以下のように定める。 （１）聖なるものへの畏敬の念を養う （２）多様性の中に調和を求める心を養う （３）人類の福祉の向上に貢献できる能力を養う （４）グローバル化・情報化・複雑化社会に対応する能力を涵養する 英語コミュニケーション学科 国際化・グローバル化する世界の文化・経済・政治等の国際交流の場において、事実上の国際共通語（de facto international language）となっている英語において、高度のコミュニケーション能力をもって、効果的かつ分別をもって運用できる人材を育成する。 観光文化学科 「光を観る」という観光の学びとして、歴史・文化の本質を理解したうえで、文化資源及び観光資源の光の価値を認識し、国内外へ発信できる人材、さらに、他地域との比較によりそれらに対する新たな価値を創出し、文化振興及び観光振興に貢献できる人材を育成する。また、実践的な教育の取り組み強化により、大学の教育・研究と地域社会の実態との乖離を無くし、観光産業発展に寄与できる優れた人材を育成する。	
卒業又は修了の認定に関する方針	
（公表方法：https://www.ocjc.ac.jp/ocu/ocupolicy_ecom/ https://www.ocjc.ac.jp/ocu/ocu-tourism_culture-policy/） （概要） 英語コミュニケーション学科 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） 1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること 2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること 3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること 4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること 観光文化学科 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） 1. 知識・理解 建学の精神を礎とした平和を創造する力を養い、観光・文化の専門的な知識を身につけ、地域社会・国際社会の発展に貢献することができる。 2. コミュニケーション力 外国語を駆使しながら多様性社会の人々とコミュニケーションを図り、他者と協働するとともに、他者に方向性を示し、リーダーシップを取ることができる。	

3. 自己理解力 豊かな人間性をもって自己をコントロールし、主体性を持って自分の考えを表現し、自ら目標を身につけて行動することができる。 4. 課題対応力 グローバル社会で生じる広範な情報リテラシーを身につけ、自ら課題を見出し、論理的思考力で、実践的に解決することができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.ocjc.ac.jp/ocu/ocupolicy_ecom/ https://www.ocjc.ac.jp/ocu/ocu-tourism_culture-policy/)
(概要) 英語コミュニケーション学科 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー） 1. キリスト教文化やイエス・キリストの精神を学び、平和創造へ向けて自己理解と他者への共感力を育む教育を行う。 2. 幅広い視野に根差した実践的な英語スキル向上を図るための教育を行う（英語力）。ならびにプレゼンテーション能力、自己表現力、情報発信力、共感力を持った主体的・協働的コミュニケーション力育成のための教育を行う（コミュニケーション力）。 3. 幅広い教養、論理的思考、批判的思考を獲得し、国際理解や異文化理解の知識を広く学ぶことで、異なる文化や背景を持つ他者に対して理解と共感を深めるための教育を行う。 4. 課題発見力を養い、他者と協働することで問題を解決する力を養う教育を行う。 観光文化学科 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー） 1. キリスト教の文化や歴史を広く学び、平和を育む教育を行う。 2. 観光、文化、歴史、語学を広範に学ぶことで、高い教養と専門的能力を培う教育を行う。 3. 他者と柔軟に協働する力と倫理観を養い、コミュニケーション能力を育む教育を行う。 4. 文化資源、ホスピタリティ、持続可能を理解するとともに、その課題解決に主体的に取り組む能力と資質を養う教育を行う。 5. グローバル社会の中で生じる広範な情報リテラシーを身につけ、多文化共生を目指す精神を培い、人間力を育む教育を行う。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.ocjc.ac.jp/ocu/ocupolicy_ecom/ https://www.ocjc.ac.jp/ocu/ocu-tourism_culture-policy/)
(概要) 英語コミュニケーション学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー） <教育理念> 「国際共通語」である英語と高度なコミュニケーション能力を駆使し、多様化する地球・沖縄社会で、自信を持って活躍する人を育てます。 <求める人物像> 1. 沖縄と世界の架け橋になるために必要な知識と技能の習得に努力する学生を求めます。 2. 英語を自由自在に使いこなし、英語を使って社会で活躍したい学生を求めます。 3. まわりの情報にふり回されることなく、自分で考え自分で判断しようとする学生を求めます。 4. 社会のなかで他人の意見も尊重しながら自分自身を表現し、周りの人と力を合わせるための基礎的なコミュニケーション力がある学生を求めます。 5. 様々な社会の課題に関心を持ち、自ら進んで学ぶ意欲のある学生を求めます。 <高等学校で履修すべき科目や取得しておくことが望ましい資格等> どの科目も積極的に学んでください。高等学校の教育課程の幅広い履修を通して、沖縄や

世界の抱える課題について関心を持つことを期待します。学内外での学習や部活動、ボランティア活動や地域社会での活動を通して、人の話を聴く力、自分の意見を表現する力、人と積極的に関わる力の向上に取り組んでください。また多様な背景をもつ人たちと交流することで、自分とは違った価値観や考えに触れる機会を持ってください。本学での学びを最大限に生かすために、実用英語技能検定準2級レベル以上の英語力を身につけていることが望ましいです。

観光文化学科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

1. 本学の「建学の精神」に賛同し、平和的な社会に主体的に貢献しようとする者。
2. 語学・観光・文化の習得や他者とのコミュニケーションを積極的に行おうとする者。
3. 社会の様々な課題に興味があり、違う文化や価値観を持った人々と主体的に交流し共生を目指そうとする者。
4. 高等学校等で習得すべき基礎的な学力（知識、思考、主体性など）を身につけている者。
5. 本学で学ぶ知識や経験をもとに地域社会や国際社会に貢献したいという目的意識と意欲がある者。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.ocjc.ac.jp/gakuin/johokokai/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関する事

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
人文学部	2 人	—					2 人
人文学部	—	11 人	8 人	3 人	人	人	22 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		30 人					30 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： 英語コミュニケーション学科 https://www.ocjc.ac.jp/ocu/faculty_ocu_ecom/ 観光文化学科 https://www.ocjc.ac.jp/ocu/faculty_ocu_ct/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
「沖縄キリスト教学院大学F D委員会」を設置し、建学の精神を踏まえた学部及び学科の教育目的並びに、目標とする教職員像及び人材育成方針に基づき、教育内容・教育方法の改善を図るため、様々な F D 活動を行っている。							
【主な活動内容】							
・ F D に係るアセスメント調査（授業改善アンケート、学生生活実態調査、成績分布状況等）の計画・実施及び結果分析							
・ ティーチング・アワードの選考							
・ F D ワークショップの実施							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人文学部	180 人	169 人	93.9%	480 人	457 人	95.2%	15 人	4 人
合計	180 人	169 人	93.9%	480 人	457 人	95.2%	15 人	4 人
(備考) ・本表の収容定員については、既存学科（390 名）に、令和 6（2024）年度開設した観光文化学科の学年（1 学年分/90 名）を加えた人数を記載している。 ※様式第 1 号添付書類及び機関要件の確認事務に関する指針（p. 45）に準拠。								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人文学部 英語コミュニケーション学科	69 人 (100%)	0 人 (0%)	55 人 (80%)	14 人 (20%)
人文学部 観光文化学科	－人 (100%)	－人 (%)	－人 (%)	－人 (%)
合計	69 人 (100%)	0 人 (0%)	55 人 (80%)	14 人 (20%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 日本トランスオーシャン航空(株)、ANA 沖縄空港(株)、(株)琉球銀行				
(備考) その他：留学希望者、アルバイトなどを含む				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
人文学部 英語コミュニケーション学 科	79 人 (100%)	40 人 (50.6%)	28 人 (35.4%)	11 人 (14%)	0 人 (0%)
人文学部 観光文化学科	-人 (100%)	-人 (%)	-人 (%)	-人 (%)	-人 (%)
合計	79 人 (100%)	40 人 (50.6%)	28 人 (35.4%)	11 人 (14%)	0 人 (0%)
(備考) ・2024 年 3 月 31 日現在。 ・入学者については、10 月入学生、編入学生は含まない。 ・留年者数には、留学等の休学により在籍不足となる学生（23 人）を含む。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 授業科目について、本学では「シラバス作成ガイドライン」に則り科目担当教員がシラバスを作成する。シラバスにおいては、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・マップ、また作成ガイドラインに基づき、各項目（授業形態、到達目標、授業の概要、各回の授業計画及び事前学習・事後学習、評価方法・評価基準、DP との関連性 等）について明記している。その際、第三者（学部長、学科長、教学支援部長、学科教員間、等）による点検作業を実施し、適正性に欠けるシラバスについては、担当教員へ修正を指示し、適正な内容へと改善を行っている。 シラバスは 3 月中旬に完成し、ホームページ上で公表している。シラバス活用については、履修登録ガイドと併せて Web シラバスの利用手順を履修登録前の 3 月下旬にホームページ上に掲載し学生向けに周知している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 学修の成果に係る評価は、各授業科目の「評価方法」として、到達目標に対する学修成果の到達度を適切に評価できる方法及び割合を、シラバスにあらかじめ明示している。 (例：定期試験〇%、課題・授業外レポート〇%、小テスト〇% 等) また各授業科目の「評価基準」についても、到達目標で示した学修成果の到達度を評価する際にどこに着目するのか、具体的で客観的な判断基準として「授業別ルーブリック評価」を導入し、評価項目と評価基準について、初回講義時に学生に説明することとしている。 客観的な指標として GPA 制度を採用しており、活用状況については下記 URL にて公表している。 卒業の認定に当たっては、以下の「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」を踏まえた上で、所定の授業科目数及び単位数を修得した学生に対し、学則第 44 条及び第 45 条に則り、卒業を認定し学位を授与している。 【沖縄キリスト教学院大学】 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） (1) 「仕えられるためではなく仕えるために」他者と協働し、キリストの精神を礎とした平和な地域社会・国際社会の実現へ貢献することができる（キリスト教・平和・社会貢献）。

(2) 高い人権意識と語学力を持って他者の考えや思いを理解するとともに主体性を持って自分の考えを表現し、平和的なコミュニケーションを実践することができる（語学力・社会的倫理観・コミュニケーション能力）。

(3) 他者の文化や社会、歴史や価値観が多様であることを深く理解し、寛容性と責任感のある地球市民として共生を目指し行動できる（多文化共生）。

(4) 修得した知識・技能を活かして地域社会の課題を発見・解決できる（地域貢献）。

【英語コミュニケーション学科】

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること
2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること
3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること
4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること

【観光文化学科】

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 知識・理解
建学の精神を礎とした平和を創造する力を養い、観光・文化の専門的な知識を身につけ、地域社会・国際社会の発展に貢献することができる。
2. コミュニケーション力
外国語を駆使しながら多様性社会の人々とコミュニケーションを図り、他者と協働するとともに、他者に方向性を示し、リーダーシップを取ることができる。
3. 自己理解力
豊かな人間性をもって自己をコントロールし、主体性を持って自分の考えを表現し、自ら目標を身につけて行動することができる。
4. 課題対応力
グローバル社会で生じる広範な情報リテラシーを身につけ、自ら課題を見出し、論理的思考力で、実践的に解決することができる。

【沖縄キリスト教学院大学学則】

（卒業・学位）

第 44 条 本学に 4 年以上在学し、英語コミュニケーション学科においては、別表第 1 及び別表第 2、観光文化学科においては、別表第 1 及び別表第 3 に掲げる所定の授業科目数及び単位数を修得した者には、教授会の議を経て学長が卒業を認定する。

2 前項の規定により、卒業の要件として修得すべき所定の単位数のうち、第 31 条の 2 第 2 項に規定する授業の方法で履修し修得した単位は、60 単位を超えない範囲で認定する。

3 学長は、第 1 項の卒業を認定した者に対して、卒業証書・学位記を授与する。

4 卒業の認定及び卒業証書・学位記授与は、3 月及び 9 月に行う。

（学位の授与）

第 45 条 学長は、卒業を認定した者に学士の学位を授与する。

2 学位の授与については、別に定める。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人文学部	英語コミュニケーション学科	124 単位	㊥・無	※24 単位
	観光文化学科	124 単位	㊥・無	※24 単位
GPA の活用状況（任意記載事項）		※GPA による履修条件 (1) 累積 GPA が 3.00 以上の場合、当該学期における履修登録の上限を 24 単位とする。		

	(2) 累積 GPA が 3.00 未満の場合、当該学期における履修登録の上限を 20 単位とする。 (3) 履修条件において、所属学科長との面談により承認された場合は、本項 2 号の上限の限りではない。 (4) 超過単位については、教員免許取得に必要な科目は含まないものとする。 ※※GPA による学修指導 (1) 履修科目の GPA が 1.50 に満たない場合、アドバイザーによる勧告・指導・助言を行う。 (2) 履修科目の GPA が 1.00 に満たない者には、学部長が退学を勧告することができる。 公表方法： https://www.ocjc.ac.jp/ocu/ocu_requirements/#GPA
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法： ・学生による授業改善・評価アンケート結果 https://www.ocjc.ac.jp/gakuin/johokokai/#joho11 ・学生生活実態調査報告書 https://www.ocjc.ac.jp/gakuin/johokokai/#joho12 ・学生満足度調査 https://www.ocjc.ac.jp/gakuin/johokokai/#0305 ・資格取得奨励金給付実績 https://www.ocjc.ac.jp/campuslife/support_official/

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：
 教育環境：https://www.ocjc.ac.jp/gakuin/gaiyou/info_edu/
 校地・校舎：<https://www.ocjc.ac.jp/gakuin/gaiyou/kouti/>
 キャンパスマップ：<https://www.ocjc.ac.jp/gakuin/gaiyou/cmap/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
人文学部	英語コミュニケーション学科	660,000 円	130,000 円	160,000 円 60,000 円	教育充実資金（年額） 休学中の在籍料（年額）
	観光文化学科				
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 1. 奨学金 意欲と能力があり、経済的理由により、学費援助を必要とする学生のために本学独自の奨学金があり、すべて給付型（返還不要）である。 2. 日本学生支援機構の給付型奨学金の採用候補者 入学手続き時に「大学等奨学生採用候補者決定通知」の写しと共に「学費分納願」を提出し、分納手続きを行った入学生については、前期分授業料減免予定額を入学後まで猶予している。入学後、JASSO より採用の確認が取れ次第、奨学金と減免額の振替処理を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 1. 就職について キャリア支援課において、徹底した「個別支援」、きめ細やかな就職支援を行っている。 （１）個別相談・個別支援 （２）進路セミナー（６月） （３）キャリア&アカデミックプランニング講座 （４）就職ガイダンス（Tcafe） （５）就職セミナー★1Days （６）業界研究 cafe （７）学内企業説明会の開催 （８）各種資格/試験対策講座の開講 ①英検対策講座 ②日本語検定３級対策講座 （９）講義との連携 （１０）県外就職促進事業 （１１）資格取得奨励金給付（英検、TOEIC を含め英語系資格取得者への奨励金） 2. 進学について 大学院進学についての各種相談、情報提供等を学生課にて行っている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

- ・学生一人ひとりに入学と同時に担当教師（アドバイザー）を決定し、何でも気軽に話し合える関係づくりと学生のアカデミックライフの資質向上を目標としたオフィスアワーの体制をとっており、学生個々人の豊かな自己発展につながるよう支援している。
- ・専門のカウンセラーによる面談・メールでの相談を受けている。
- ・毎年4月（復学者は9月）に健康診断を実施し、学生の身体状況を把握している。結果により校医等による相談・指導などフォローアップを行っている。
- ・障害学生に対しては、規程を整備し全学生が等しく情報を共有できるよう大学全体でサポートできる体制を整えている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.ocjc.ac.jp/eduinfo/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。